



2022年10月6日

各 位

会社名 株式会社 乃村工藝社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 榎本 修次
(コード番号 9716 東証プライム)
問合せ先 取締役 常務執行役員
管理統括本部長 奥野 福三
(TEL. 03-5962-1119)

マテリアリティ（重要課題）の特定に関するお知らせ

当社は、2022（令和4）年10月6日開催の取締役会において、サステナビリティ方針に基づくマテリアリティ（重要課題）の特定について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. マテリアリティ特定の背景

当社グループを取り巻く事業環境は、今後大きく変化することが予想されます。限られた経営資源を最大限有効に活用し、また、事業の機会とリスクを的確に捉えた経営戦略を実行することが必要であり、その方向性を示すためマテリアリティの特定を進めてまいりました。

2. マテリアリティ特定のプロセス

(1) 社会課題の把握

各種国際的なフレームワーク（ISO26000、SASB、TCFD 提言など）やコーポレートガバナンス・コード、他社の動向などを参考に課題を抽出。

(2) 経営の視点からの評価

取締役会からの諮問を受けたサステナビリティ委員会（委員長：代表取締役 社長執行役員 榎本修次）において、企業価値の向上を目指す観点から優先的に取り組むべき項目を抽出。また、サステナビリティ委員会が行った各項目に対する評価結果に対して取締役会においてディスカッションを実施。

(3) ステークホルダーとの対話

サステナビリティ委員会および取締役会が抽出したマテリアリティ項目に関して、ステークホルダー（得意先、協力社（仕入先）、従業員、機関投資家など）への意見交換・ヒアリングを実施。

(4) マテリアリティの特定

取締役会においてマテリアリティを決議。

3. マテリアリティ（重要課題）

当社グループは、2022（令和4）年4月12日に制定したサステナビリティ方針に基づき、「企業統治（ガバナンス・リスクマネジメント・コンプライアンス）」「人権尊重、働き方・多様性の受容・人財育成」「品質・環境・安全」「社会貢献活動」の4つのテーマにおいて、計14個のマテリアリティ（重要課題）を特定しました。詳細は添付別紙をご参照ください。

以 上

乃村工藝社グループのマテリアリティ（重要課題）

サステナビリティ方針

マテリアリティ（重要課題）

1. 企業統治（ガバナンス・リスクマネジメント・コンプライアンス）

- ・法令および社会規範を遵守し、事業活動を取り巻くリスクの適切な管理に取り組み、環境や社会に配慮した公正で健全な企業活動のためガバナンスを構築します。

コンプライアンスを徹底し、変化に対応できる柔軟でスピーディーな経営の実現

ステークホルダーとの対話、協働の実践

2. 人権尊重、働き方・多様性の受容・人財育成

- ・事業活動にかかわる人権課題についての理解を深め、人権尊重の責任を果たしていきます。
- ・社員の健康的な働き方を追求するとともに、年齢、性別、障がいの有無、国籍、人種、価値観など、幅広い多様性を受け入れます。また、人が持つ能力を資本としてとらえ、個々の能力を発揮できる人財の育成に努めます。

多様な人財の活用・育成による創造力の発揮

働きがいのあるライフワークバランスの推進

ハラスメントのない安心して働ける環境の実現

3. 品質・環境・安全

- ・提供する商品・サービスの品質や安全水準の向上・改善に取り組みます。
- ・事業活動における環境負荷を低減し、環境に配慮した調達や新しい技術の導入・開発に取り組みます。
- ・働く人びとの安全と健康の確保、災害や事故の防止に取り組みます。

サプライチェーンマネジメントによる商品・サービスの信頼性向上

地球・自然・人間環境を豊かにするモノづくり・コトづくり

安全・安心な労働環境の実現

4. 社会貢献活動

- ・事業活動等を通じて、文化の発展や地域社会への貢献、また文化や地域を超えた相互理解の促進や次代の創生に資することに取り組みます。

地域資産の継承とコミュニティ形成による地域の活性化

誰にでも使いやすい空間づくりの実現

文化的活動との共創・支援による豊かな感性づくり

スポーツやウェルネス事業の空間づくりによる健康社会の実現

豊かな人間環境を実現するクリエイティブ人財とエンジニアリング人財の輩出

クリエイティブな発想と技術革新による空間価値の向上